

みどりによる地域価値の向上について

川崎市長 福田 紀彦

社会環境が急速に変化し、身近な公園やオープンスペースの需要が増加する中、みどりが持つ多様な力を活用しながら自然環境と都市機能の調和を図り、地域価値を向上させていくことが求められている。

国においても、「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」や「グリーンインフラ推進戦略 2023」において、みどり空間を地域の資産として一体的に捉え、共に管理・活用し、地域価値を向上させる取組の推進が重要と示されている。

一方で、九都県市をはじめ大都市においては、都市化により、まとまったみどり空間の確保が難しい中、シームレスな空間整備や持続的な維持管理などには、多方面との柔軟な協議・調整を要するとともに、継続的な取組の展開にあたっては、担い手や資金の確保などの課題も存在する。

こうした状況を踏まえ、九都県市が共同で多様な主体の連携による、みどりの力を活用した地域価値の向上に向けて、知見の共有及び課題解決手法の検討を行うことを提案する。

【取組の例】

- ・地域において、多様な主体が連携して進められているみどりの力を活用した先進事例の調査研究・共有
- ・みどりによる地域価値の向上に向けた、効果的なみどりの整備や維持管理手法の共有、整備効果の把握・見える化に向けた取組の検討